

(参考1)

「全国国産材安定供給協議会」について

1 目的

我が国私有林の小規模・分散的な所有構造を克服するための施業の集約化・低コスト化や原木供給可能量情報の集積・提供等の取組みを推進するとともに、民有林と国有林が連携し、需要者ニーズに対応して国産材を安定的に供給する体制を構築することを通じて、我が国の林業及び木材産業の活性化、並びにこれらを通じた森林の整備の推進を図ることを目的とする。

2 取組項目

- (1) 提案型による集約化施業の普及・定着の推進
- (2) 国産材原木供給可能量の取りまとめと需要者への情報提供
- (3) 国産材需要動向の把握と供給者への提供
- (4) 地域の実情に応じた素材生産の低コスト化その他国産材の安定供給のための情報の収集・提供
- (5) (1)～(4)を推進するための事業の進捗状況の把握、連絡調整

3 構成員

関係中央団体：全国森林組合連合会(事務局)、全国素材生産業協同組合連合会、
(社)日本林業経営者協会、(独)緑資源機構、全国森林整備協会
学識経験者：農林中央金庫
林野庁(オブザーバー)

4 第1回協議会の議事等の予定

- (1) 林野庁長官、全国森林組合連合会会長挨拶
- (2) 林野庁からの情勢説明
(国産材の需給状況、美しい森林づくり推進国民運動、国有林の取組等)
- (3) 議事(19年度事業計画等について審議し、決定)
- (4) その他